



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／宮坂 伸
- 副会長／林 裕彦・山崎典夫
- 幹事／北村正春
- 会報委員長／白鳥修次

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-12 ホテル岡谷 3F  
Tel/0266-22-6939・Fax/0266-23-6939・URL:<http://okayarc.org>・E-mail:[okayarc@bz04.plala.or.jp](mailto:okayarc@bz04.plala.or.jp)
- 例会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

## 第 2577 回例会 2012 年（平成 24 年）7 月 24 日（火）

点 鐘：宮坂 伸 司 会：藤森睦美  
齊 唱：我らの生業 ラッキーNo.：No. 20 小林純一  
表彰：ベネファクター 宮坂宥洪

### 会長挨拶

今から約 500 年前インドに、ムガル帝国第 3 代皇帝としてアクバルという方がいたようです。彼はいろんな面で政治、宗教、文化等、改革をしては王朝の安定に貢献した方だそうです。彼はある時、助言者として雇っていた学者に次のように聞いたそうであります。「この世で『嘘』と『真』の差はなにか」と。すると学者は「嘘と真の差はたった 3 インチ半でございます。」と答えたそうです。3 インチ半とは約 10 センチメートル。「王様、あなたが耳で聞いたものは全てうそでございます。王様、あなたがご自分でしっかり目を見た物だけが真実でございます。」つまり耳と目の距離であり、その程度だと言いたかったのでしょう。生涯アクバルは現場に行って自分で見た物だけを信じたそうです。地に足をつけ自ら足を運んで確認する姿勢を教わった気がしました。

確かに夫婦の間でも一生わからないものがあります。大体女性は点と点で物事を話し、不思議なことにそれがつながっているのであります。我々男はいつも「先に結論を言え。結論を」とか「ところで話は変わるけど」と言えよと声を荒立てることがあります。「あなた見て、空があんなにきれいで青いこと」なんて言った日には「空は昔から青いに決まっている」なんていう会話をしていませんか。なんて強がりを持っているけれど本当にどちらかの選択に迷った時、女房に聞くと案外簡単に真実の答えを出してくれることがあります。嘘か真か、意外と 3 インチ半という近いところに理解者がいることも忘れないようにしましょう。

### 幹事報告

- ・ 本日例会終了後にクラブ事務所にて理事会を開催します。
- ・ 8/4 社会福祉大会がカノラホールで開催されます。5 名の参加依頼が来ております。
- ・ 岡谷市安全大会が 7/29 カノラホールにて開催されます。

## 8月の例会予定

7日通常例会・14日指定休日・21日早朝例会=照光寺 6:30~・28日ナイトクルーズ 夜間例会=詳細後日



## 卓話「ロータリー雑話」

パストガバナー  
三井章義様

(はじめに)

本日は皆様にお話する機会を与えていただきありがとうございます。ありがとうございました。

まず最初にお礼を申しあげたいことがございます。それはこのたび宮坂宥洪さんをガバナーに推挙していただいたこととあります。宮坂さんはすでにガバナー・ノミニー、ガバナーエレクトとして活動を始めていただいております。尾関さんをはじめクラブの方々も同様に準備を進めて頂いております。

諏訪グループからは今迄、私共のクラブから3名のガバナーが出ておりますが、他のクラブからは出していただいております。私は岡谷 RC をはじめ岡谷エコー RC、茅野 RC へ何度もお願いして参りましたが、いつも断られ続けて参りました。それだけに本当に嬉しいこととあります。本当にありがとうございました。

ガバナーについて本地区の状況をお話申し上げますと、地区内にはガバナーにふさわしい方が大勢おいでになるのに“やるぞ”と言っただけではありません。また、逆に本人が“やってもいい”とおっしゃってもクラブが NO というケースが最近幾つもありました。本人も良い、クラブも良いと言っただけでは駄目とあります。

2600 地区はここ数年来、ガバナーを選出するのに大変苦勞して参りました。その意味で今回ガバナーを出していただいた事は、地区内全てのロータリアンにとって、本当にありがたいこととあります。岡谷 RC の皆様に心より重ねてお礼申し上げます。

さて、本日の卓話の題は「ロータリー雑話」とさせていただきます。話がこちらこちらへ飛ぶかと思っておりますがご許しをいただきたいと思います。

**ガバナーと地区の関係について** ガバナーを出したクラブはガバナーが円滑に地区の仕事ができるようにガバナー事務所を開設し、地区幹事、地区副幹事、地区会計長等のスタッフを選んでガバナーを補佐することになります。そこで大事なことは先ずガバナーとはどういう立場の方なのか、地区とはどういうものなのか、ガバナーと地区の関係はどうあるべきか、ということをご正しく理解することとあります。

### 地区とは何か

地区とは管理の便宜上結び付けられた一定の地域内にあるロータリークラブのグループである。そしてそのグループに一人のガバナーがいて、地区の管理をします。

### ではガバナーとは何か

「ガバナーは RI 理事会の一般的な指揮、監督の下に職務を行う、その地区における RI の役員である」と定義付けられております。地区内にいるただ一人の RI 役員であり、地区内クラブに対する指導と監督をする事で、各クラブを啓発し意欲を与え、地区内の持続性を確保するものと定められております。平たく言えば各クラブの発展のお手伝いをすると言う事でしょうか。

具体的な任務は 14 項目にわたって RI 細則に明記されております。また、ガバナ

一は地区内で絶対的な権限をもっていると言われますが、それは当然のことながら、ガバナー年度のみであり、その事は裏を返せば重い責任を負っていることを意味するものであります。だからといってガバナーが好き勝手なことをしても良いということではありません。ロータリーの規則の範囲であることは勿論のこと常識にもとづいたものでなければなりません。そして何よりも大事なことは各クラブの自主性を尊重することです。

国際ロータリーの会員はクラブであります。私たち個人はそれぞれのクラブの会員であります。国際ロータリーの会員ではありません。ですから地区は各クラブをサポートするために存在しているのです。地区の委員会は各クラブの活動を助けるためにあるのであって、奉仕活動の実践母体ではありません。クラブに対し奉仕の理想や奉仕活動に関する情報を提供するのが仕事であります。

地区には諮問委員会というのが RI 規則によって作られております。メンバーはパストガバナーだけあります。この存在が一部の会員により誤解されております。その誤解とはガバナーに対し姑や小姑のような存在で、ガバナーは全て諮問委員会の承認がないと何にもできないように思われているところであり、確かに他所の地区ではそのような諮問委員会があると聞いておりますが、当地区では伝統的なガバナーに対する応援だと思っております。予算を決めたり地区組織や人事を決めたりする際に意見を言います。それらは全てガバナーからの諮問を受けて物申す訳であって、決して強権をもって押し付けてはおりません。

ガバナーの仕事の中に地区内の継続性を確保するというのがありますが、ガバナーを経験した人の意見が適正な判断をすることが多々あることは事実ですので、宮坂がガバナーの応援団として頑張ります。

## 地区事務所について——私見

一昨年 12 月の地区諮問委員会の席上において、私が一つの提案をいたしました。それは「近い将来地区事務所の設置が必要になるのではないかと、今から研究をしておいた方がよいのでは」と言うものであります。諮問委員会では全会一致で研究することになり場所は松塩地区が県の中心地区ということで利便性を考え適地とうことで意見がまとまりました。

先日開かれた 2600 地区のパストガバナー懇談会で改めてこの件を推進するべきという意見が圧倒的多数を占めておりましたので、さらに検討をお願いいたしました。

### 地区事務所の必要性

1. 利便性
  - ①ガバナー事務所の仕事は毎年同じことの繰り返しが多いので慣れた人が扱う。
  - ②地区レベルの会合の準備や設営を地区事務所が担当する
  - ③会合の場所も県の中心部とする。
2. 継続性
  - ①RI や R 財団との連絡や申請等の手続きを円滑に行う
  - ②前年度のものを引き継ぐことが多い。
  - ③ガバナー事務所のスタッフは毎年新しい人が就任するので業務面ではゼロから出発する。仕事は覚えた頃には終わりになる。
3. 経済性
  - ①がバナー事務所で使用するパソコン、コピー機、電話機等機器類を購入し、終わると業者や会員に安く引き取ってもらう。
  - ②毎年がバナー事務所を借りるのを止めてクラブの事務所にガバナー事務所を設ける。

## ガバナー事務所と地区事務所の関係

1. ガバナー事務所が主体で地区事務所はガバナー事務所の補助機関である。
2. 業務の指揮、監督権はガバナー事務所にある、従って全ての責任はガバナー事務所にある。
3. 事務的な仕事の多くは地区事務所で処理する。
4. 地区の活動の主体は各委員である。ガバナー事務所はこれを助ける機関である。
5. 事務所の所在地はガバナーの所属クラブが地域内にガバナー事務所を県の中央部に地区事務所を設ける。
6. 業務面でも設備面でも極力重複を避けるよう工夫する。

## CLP について

CLP は 2004 年の理事会で決定したものの。

CLP は各クラブで決めることである。従ってやっているクラブとやっていないクラブがある。当地区ではやっているクラブは少数派です。日本全体も同じ傾向である。2010 年の手続要覧では各クラブに義務付けていないと明記している。しかし RI は会長要覧などで採用すべきであると言っているようです。来年にはシカゴで 3 年に一度の規定審議会が開かれますので、正式に決まるのでないでしょうか。何故ならば「地区ガバナー補佐要覧」「地区委員会の手引き」を始めとして、全ての要覧や手引きには DLP と CLP がセットで説明されているのです。DLP は地区リーダーシッププランで 2002 年までに全ての地区で採用されております。CLP を採用することにより二つのリーダーシッププランの相乗効果が期待できると考えていると思います。

では、その狙いは何か、「最大の狙いは各クラブの発展成長です。」RI はアメリカと日本というロータリー大国の会員減少に大変危機感を保っていると言われております。RI としては会員であるクラブが発展成長しなければ困る訳です。世界中の不幸な人たちに対する奉仕を拡大しようとしている現在、強いクラブが沢山なければなりません。世界の 34,164 のクラブに強くなってもらいたいのです。

では CLP を採用すればクラブは強くなるのかと言うと、私は必ずそうなるとは言えないと思います。効果的なクラブを造ることを狙っているのですが、効果的なことは確かですが、強くなるかどうかどうか疑問であります。

## 未来の夢計画— ロータリー財団

「Future Vision plan of Rotary Foundation」

夢と言う言葉がこの計画とは何かと解り難くしています。一言で言うと R 財団が大きく変わるということです。もっと言うと肥大化、複雑化した財団のプログラムを簡素化するということです。つまり改革をするということです。

R 財団には大きく分けて教育的プロジェクトと人道的プロジェクトがありますが、人道的プロジェクトで一番多く利用されているのが、マッチンググラントで 2000 年から 2004 年の 4 年間で 1 万件を超えました。また、金額が大きいプロジェクトが 3H プログラム(保健、飢餓、人間性)

です。これが大きくなって収拾がつかなくなったり、何のためだか目的がわからなくなったり、中には不正使用があったりしたようです。それで、小額なプロジェクトは地区に任せ、焦点を絞った大きなプロジェクトを継続的にやるために計画された未来計画であります。

では、どのように変わるのでしょうか。地区活動資金(DFP)は 50%、残り 50%は国際活動資金というシェアシステムは変わらない。DFP の 20%しか使えなかった地区補助金が 50%に拡大された。DFP の残り 50%は 6 つの重点分野に使うことになりました。この結果、皆様にはよくご存知の国際親善奨学生というプログラムは無くなりました。

そして、新しい仕組みは 2013 年度から実施されます。地区は新地区補助金とグローバル補助金の二つの補助金を】使って奉仕活動をするようになります。詳細につ

いてはクラブのR財団委員長にお聞き下さるか、ロータリーの友2011年11月号のP14~16に詳しく載っておりますので、ご覧下さい。

(米山奨学会について)

私は現在米山奨学会の常務理事をさせていただいておりますので、米山奨学会についてご報告をさせていただき対と思います。

今年1月4日付けで公益法人米山記念奨学となりました。今までは各地区から理事1名(パストガバナー)と2名の評議員(パストガバナーとガバナーエレクト)を出していただき、理事会のもとに評議員会がありました。新しい法律になってから立場が逆になり、事業計画や予算など評議員会が決めたものを、理事会が実行するということになりました。

---

## ニコニコボックス

三井章義パストガバナー お世話になります。

牛山幸一・梅垣和彦・太田博久・小口雅弘・小口泰史・尾関秀雄・小野 仁・北村正春・小林純一・小松正二・佐藤有司・白鳥修次・高木昭好・武井利夫・竹村一幸・中嶋孝一・中村文明・浜 俊弘・林広一郎・林 尚孝・林 裕彦・林 靖高・藤森睦美・宮坂 伸・宮坂宥洪・矢島 進・矢島 實・山岡正邦・山岸邦太郎・山崎典夫 三井章義パストガバナー歓迎申し上げます。岡谷 RC 会員一同卓話を楽しみにしています。

瀬戸雅三・林広一郎・林 裕彦・原 史郎・平沢清文・山岸邦太郎 宮坂宥澄会員護摩修行ご苦労様です。

## 出席報告

会員数45名、出席者35名、出席率77%78、前々回訂正95%56

2012-2013 年度 R I テーマ  
奉仕を通じて  
平和を

